

アスベスト処理工事



石綿飛散をシステムで防止します。

当社では、法律で定められた規定に従い、周辺環境および作業従事者の安全確保に配慮したアスベスト処理作業を実施しております。

アスベストとは


アスベスト（石綿）の蛇紋岩や角閃（かくせん）石から取り出した極細繊維状の天然鉱物で様々な種類が存在します。現在ではクリソタイル（白石綿）、アモサイト（茶石綿）、クロシドライト（青石綿）の他にアンソフィライト、トレモライト、アクチノライトの合計6種類が建築材料として主にボイラーや暖房パイプの被覆など、まだまだ多くの建物、製品に使われています。

石綿含有建材は工法及び材料の飛散度合い・見掛けや密度などから石綿含有吹付け材、保温材、成形板などの3つに分類されています。

- 1 吹付け材** 発じん性が著しく高く、耐火建築物、準耐火建築物の鉄骨などに使用されている。
- 2 保温材等** 発じん性が高く、ボイラー本体及びその配管、空調、ダクトの保温材として使われている。
- 3 成形板等** 発じん性は比較的低く、建築物の天井、壁、床などに用いられる。

アスベスト（石綿）の人体に与える有害性は深刻な社会問題となっています。また、除去方法にも多くの問題点が残されており、当社ではこうした状況を改善するため、処理薬液によって石綿の飛散を防止する「アスシールSi1/Si2/Si3」を開発。アスシール工法のシステム化により、責任を持った施工体制を確立しています。

アスシール（石綿飛散防止）工法	
技術審査証明	BCJ-審査証明-88（除去） BL-審査証明-003（封じ込め）
技術名称	吹付けアスベスト 粉じん飛散防止処理技術
「アスシール除去工法」 審査証明依頼者	菊水化学工業株式会社 日本トリート株式会社



アスシール工法の特徴

- 処理薬液は無機質水系で石綿の結束性を高め、飛散を防止。
- アスシールは除去工法、封じ込め工法、囲い込み工法のいずれかにも対応可能。
- 責任施工体制を確立しており、関連法令を守り外部汚染などの心配はありません。

アスシール除去工法

アスシールSi3で石綿層を湿潤化し、飛散を抑えながら剥離、除去をして飛散を防止する工法です。

アスシール固化工法

石綿繊維の飛散を防ぐため、アスシールSi1のスポット注入補強とSi2で石綿層の表面を固め、飛散を防止する工法です。



アスベスト除去から内装解体、断熱材の復旧、内装工事まで、 ご要望に応じてトータルでの作業を承ります。



仮設工事
作業に必要な足場組立等を行います。現場によっては使用する材料・搬入車両のサイズ等を検討し現場に合ったものを設置致します。電子媒体による図面作成も致します。



内装解体工事
作業に支障を来す内装材等の撤去・研りを行い、解体材は廃棄物の種類別に各処分場へ運びます。※各現場ごとに委託契約書作成後、マニフェスト伝票を発行致します。



内装仕上工事
石綿処理作業後、解体した内装材および耐火被覆材の復旧を行います。内装復旧の際の材料については検討しご提案致します。

レベル1
石綿含有吹付け材

レベル2
保温材、耐火被覆材、断熱材

ボイラー本体や配管、空調設備に使用されています。飛散性が完全隔離又は部分隔離等の工法となります。現場の状況に沿って適切な工法を選択致します。

レベル3
成形板等

建築物の天井、壁、床材、屋根等の建材に使用されています。
主に対策工事としては除去、増し張り、補修を現場の状況に合わせて施工致します。

建築物・工作物等の塗装材や下地調整材、設備の部材等に使用されており、使用状況等により対策方法も大きく変わります。独自の特殊工法等によって安心・安全で費用対効果の高い工